

第3学年 総合的な学習の時間

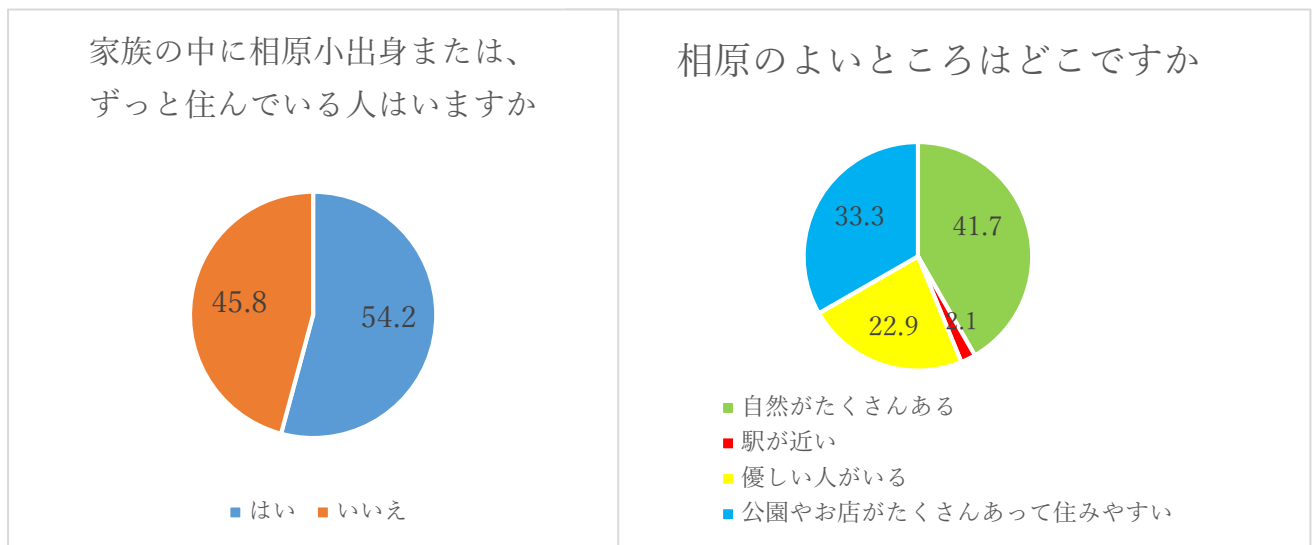
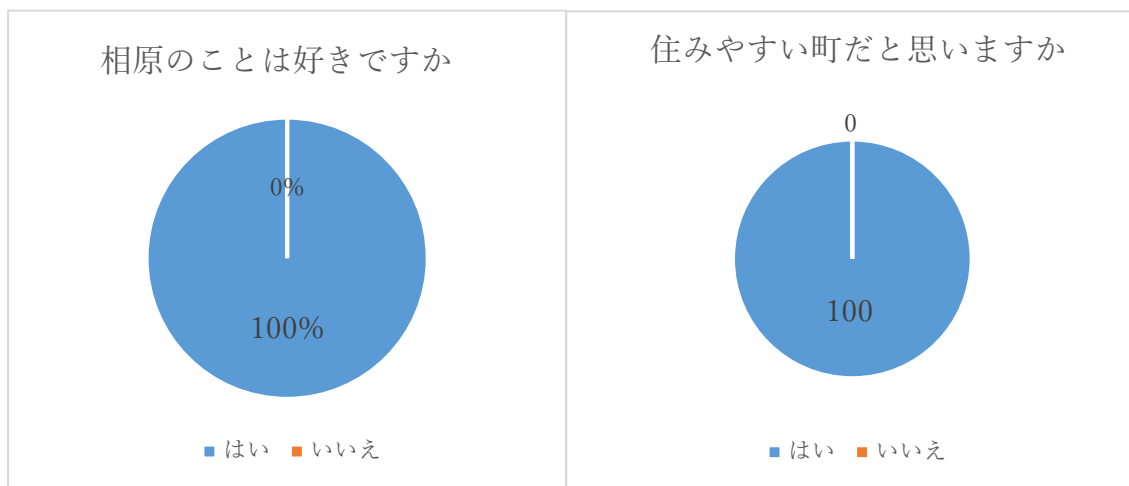
1、 単元名	目指せ！相原マスター		
2、 単元の目標	自分の町のよさを振り返る活動や、地域の方々との交流を通して、相原のよさや、そこに住んでいる人々の思いに気づき、学んだことを基に地域への愛着を深めることができるようにする。		
3、 単元の 評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ① 相原には、様々な店や公共施設などがあり、それぞれによさがあり、そこで働く人々の思いがあることを理解している。 ② 相原の良さについて、目的に応じて、インタビューを基に調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自分の住んでいる町の様子や店などから疑問をもち、解決に向けて自分にできることを考えている。 ② 収集した情報から、相原の良さを伝えるために必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較・関連付けたりしながら解決に向けて考えている。伝える相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 相原について関心をもち、自分の住んでいる町の様子を振り返ったり、他者の考えを認めたりしながら課題を解決しようとしている。 ② 地域との交流を通して得た知識を生かしながら、協働して探究活動に取り組もうとしている。 ③ 自分と地域の人々との関わりに気づき、相原への愛着を深め、伝えようとしている。

4、児童の様子

元々、地域全体が地元を大切に思う傾向である実情はあるが、子ども達がどこまで地元に対して愛着を感じているかは不明であった。学習の初めの頃には、何気なく通学路を通ったり、保護者と買い物に行ったり程度の認識であった。そのため、「見たことはあるが、詳しいことは分からない。」との子ども達の発言が多かった。

調べ学習や町探検でのインタビュー活動を進めていった際に、アンケートを実施した。結果から、保護者や祖父母の代から相原に住み続けている世帯が半分いること、調べ学習を通して自分たちの町が自然豊かであり、お店や公共施設もあり住みやすく愛着がもてる町であることに気付いていることが読み取れる。

調べ学習を基に考えた相原のよいところを、学年間で発表し合った。それぞれの視点で新たな疑問や発見した出来事などが明確になったことによって、4年生への発表に向けて、さらに興味をもち調べ学習の内容を深めている。



5、指導計画（全31時間）

過程	時間	学習活動
課題設定	4	<p>○「相原」について話し合いテーマを決める。</p> <p>○グーグルマップを基に自分達の住んでいるところにどんな施設や店などがあるのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相原中央公園・諏訪神社・長福寺・ハッピーストア・交番・こうさぎ保育園 ・明月堂・開都・ <p>○「テーマ」を決めて、調べ方や疑問を話し合う。</p>
情報収集	10	<p>○インタビュー内容をまとめ、練習する。</p> <p>○実際に地域の人にインタビューを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月8日・10月15日各グループで町探検をした。 <p>○インタビューしたことをもとに自分たちの考えた視点と比較する。</p> <p>○グーグルの情報を基に地域の人・物・事について調べる。</p> <p>○相原の良さを伝えるという視点でどのインタビュー内容を選択するとよいかを話し合う。</p>
整理分析	5	<p>○調べたことをまとめる方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙・padlet <p>○インタビュー内容を基に、各グループでまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・padlet に入力
まとめ	2	○調べたことを各グループと発表会をして交流する。（クラス内・学年）
課題設定	1	<p>○各グループのまとめ方を振り返り、新たに付け加えることに着目する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然のこと・町の中にある標識や公園など
情報収集	1	<p>○グーグルの情報と訪問できなかった施設の解答用紙を基に調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙・padlet
整理分析	3	○発表の練習をする
まとめ	2	○4年生と交流する。
終末	2	<p>○発表会を振り返る。（本時）</p> <p>○単元を振り返る。</p>

6、展開例

(1) ねらい

- ・相原の町のよさについて自分の考えをもち、4年生と交流したことで、地域がより発展していくことが必要なことに気づき、地域を大切にしようとする行動や、地域のためにできることを考えることができる。

(2) 展開

時間	・児童の活動 △予想される児童の反応	○支援 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返る。 △相原は、自然豊かだけどその分野生動物の被害がある。 △安全な場所や危険な場所がある。 △様々な人が相原を大切にしている。 ・めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○4年生との交流会をまとめた資料を見せる。(フォーム)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>大人になっても住みたくなるような町にするためには、どうしたらよいか。 ～輝く未来へ つなげ相っ子～</p> </div>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で気付いたことを考える。 △ガードレールをふやす。 △相原のよさをまわりの人に伝える。 △スーパーをまたつくってもらう。 ・学級全体で気付いたことを交流する。 △(自) ポイ捨てをしない。 △(願) 公園を増やしてほしい。 △(願) 公共施設を増やしてほしい。 △(自) 相原のよさを他の学年に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各自または、各グループ 1 人に padlet を使用させる。 ○一括で見られるように、padlet を使用する。 ○相原は住みやすい場所であると同時により発展していくことが大切であることに着目させる。 ○自分で解決できることや自治体にお願いすることなど分類させる。 ☆相原について関心をもち、自分の住んでいる町の様子を振り返ったり、他者の考えを認めたりしながら課題を解決しようとしている。(padlet・行動観察)
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分と地域の人々との関わりに気づき、相原への愛着を深めている。(フォーム)

7、学習材設定上の留意点（地域、ボランティアコーディネータとの連携等）

- ・ボランティアコーディネーターに訪問できる施設を探してもらえよう依頼した。
- ・各施設には、児童がどのような視点で話を聞きたいと思っているかについて、あらかじめ打ち合わせをしておく。